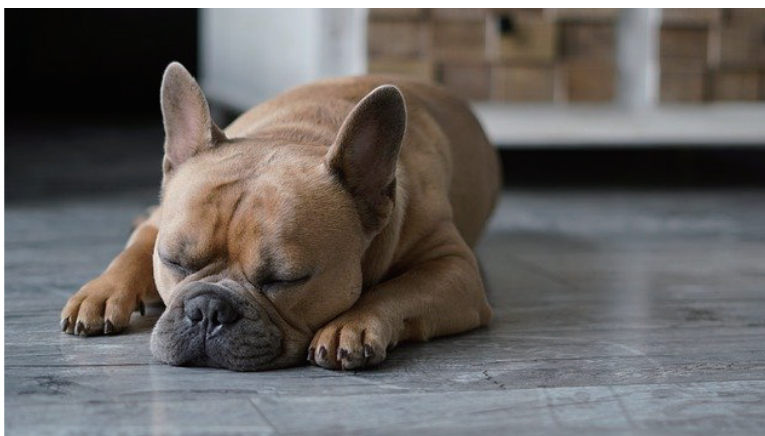




本品は、腎臓及び膀胱に留置し、尿管の排尿機能を補助するチューブです。

製品仕様

サイズ呼称		先端長	有効長	外径	内径	先端側孔	付属品	品目コード	JANコード
8.5Fr	猫用	35mm	500mm	2.8mm	1.9mm	3穴	18G留置針 ダイレーター	800-001-7154	4542187228205
	犬用	40mm						800-001-7155	4542187228212
10Fr	猫用	35mm		3.3mm	2.1mm			800-001-7152	4542187228182
	犬用	40mm						800-001-7153	4542187228199

1キット/箱・EOG滅菌済

❗ 弊社は常に研究開発を行っておりますので、予告なしに製品仕様の一部を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
❗ ご使用にあたっては、必ず添付文書をご一読ください。



クリエートメディック株式会社

<https://www.createmedic.co.jp>

【お問い合わせ先】 動物事業室 東日本 TEL(029)243-9411

西日本 TEL(080)4943-3925

FAX(029)387-2662

E-mail : oem-infoch@createmedic.co.jp



管理 No.1014-06-2505

ティアレ 尿管バイパスチューブ (ソフトタイプ)

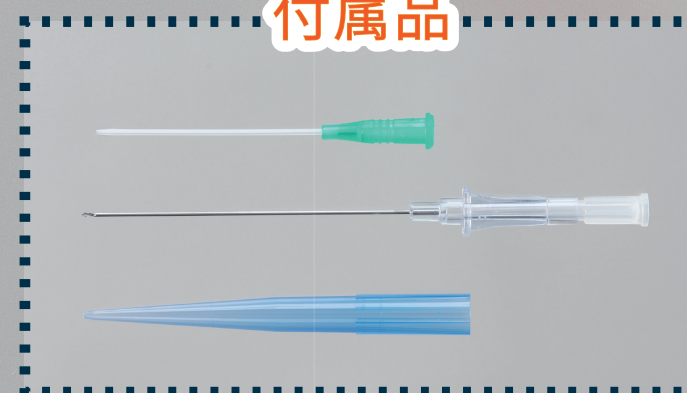
動物用医療機器届出番号：元動薬第447号

シンプルな構造で
トラブルを防ぐ
をコンセプトに開発

尿管結石や尿管狭窄の患畜に。

腎臓と膀胱のバイパス形成により、
尿管の障害に由来する水腎症の改善が期待できます。

付属品



手技動画視聴できます！

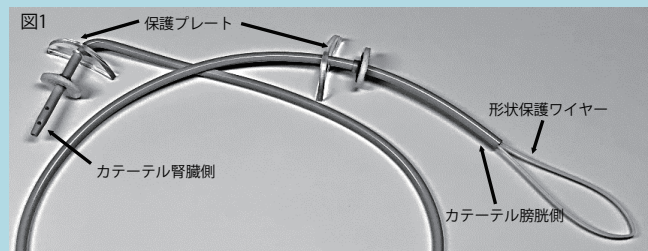


※この動画のダウンロードや
無断転載は固く禁じます。

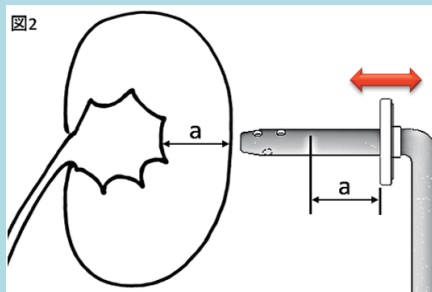


クリエートメディック株式会社

【使用方法】

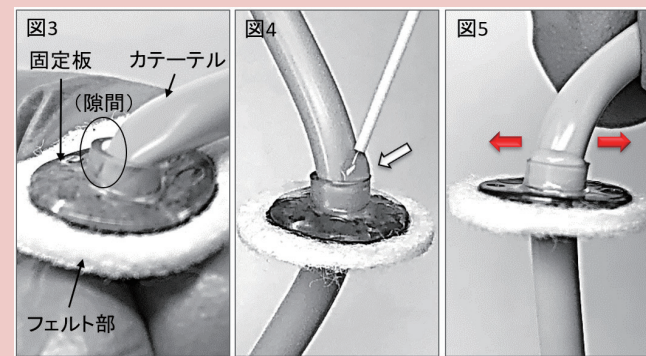


- ①剃毛し皮膚を消毒する。
- ②腹部正中切開により開腹、消化管全体をタオル等により包み込み、対象の腎臓のみ露出させる。
- ③保護プレート（2枚）と形状保護ワイヤーは廃棄する（図1）。

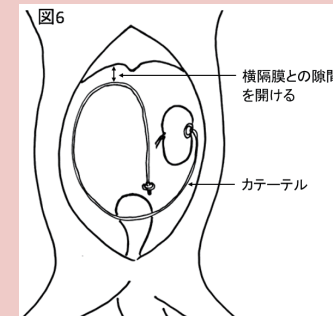


－腎臓側固定板の位置決定－

- ④超音波（エコー）にて腎臓中央部の腎被膜から腎盂までの厚み（a）を計測する。カテーテル側孔が腎盂内に留置出来る位置に固定板を動かし、固定位置を決定する（図2）。

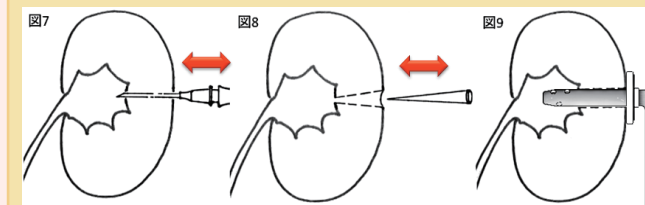


- ⑤固定する位置でカテーテルを曲げ、固定板とカテーテルの間に隙間を作り（図3）、その隙間に医療用瞬間接着剤を充填し（図4）、カテーテルを軽く左右に動かす（図5）（または固定板を回転させる）。接着剤が隙間全周に満遍なく行き渡るようにする。接着後は2～3分放置、乾燥させ、固定されていることを確認する。



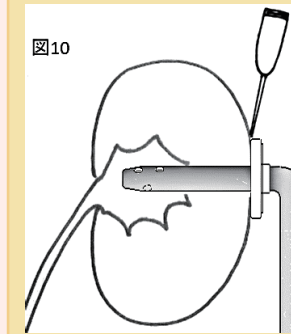
－膀胱側固定板の位置決定－

- ⑥膀胱側の固定板は、カテーテル全体がゆるやかなループ状になるよう大網上に配置する。長い場合は後端をカットし調整する（図6）。後端が膀胱内に約1cm程度挿入されるよう位置を決定する。
- ⑦カテーテル膀胱側の固定板を、⑤と同様の要領で隙間接着を行い固定する。

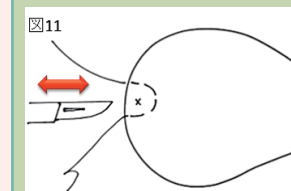


－腎臓側のカテーテル留置－

- ⑧エコーで腎盂を確認しながら、腎臓中央部より腎盂に向かって18G留置針をゆっくりと尿が噴出するまで刺入する（図7）。次にダイレーションを行う（図8）。ダイレーターを抜去し、カテーテル腎臓側先端を腎盂内に挿入する（図9）。

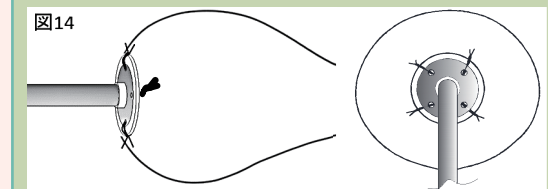
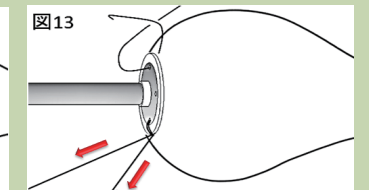
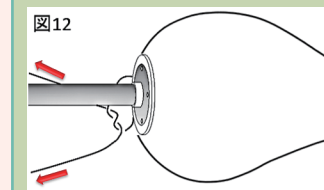


- ⑨エコーで腎盂内のカテーテルを確認し、膀胱側から生理食塩水を適量注入し、腎盂内への流入を確認する。一方で膀胱側からの排出も確認する。確認出来ない場合はカテーテルを一旦抜去し、カテーテル膀胱側からフラッシングし、詰まり等がないかを確認する。次にフェルト部と腎臓を接着する（図10）。

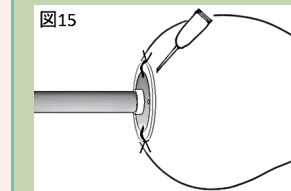


－膀胱側のカテーテル留置－

- ⑩膀胱尖部に巾着縫合をし、縫合の中心を小切開する（図11）。
- ⑪膀胱に向け、カテーテル全体をゆるやかなループ状にする（図6）。



- ⑫カテーテル膀胱側の後端を小切開孔から挿入し、固定板のフェルト部が膀胱漿膜面に接触した状態で巾着縫合を締結し（図12）、その縫合糸を使い固定板とフェルト部の一方を締結固定する（図13）。さらに残り3ヶ所の膀胱壁と固定板とフェルト部を締結固定する（図14）。



- ⑬フェルト部と膀胱壁を接着する（図15）。
- ⑭定法通り腹壁、皮膚を縫合し手術を終了する。

体の伸び縮みを吸収して、負荷を軽減

【付属品】

- ・18G留置針
- ・ダイレーター

【形状保護ワイヤー】
チューブ曲がりを予防するワイヤーです。引き抜いて廃棄してください。

L字型で、内腔閉塞を予防

先端長
猫用：35mm
犬用：40mm

【保護プレート】
固定板の折れを予防するシートです。ご使用せずに廃棄してください。

【固定板2枚】
チューブに装着しています。固定には医療用瞬間接着剤をご使用下さい。

製品特長

〈尿路を安全に確保し続ける5つの工夫〉

- ①腎盂挿入部は予め曲げ加工を施したL字型で、折れ曲がりによる内腔閉塞を予防します。
- ②柔軟な素材とループ形状が体動を吸収し、腎盂、膀胱の縫合部など局所への負荷を軽減、チューブの屈曲、脱落を予防します。
- ③太いチューブ（8.5Fr：内径1.9mm、10Fr：内径2.1mm）で、つまりを予防します。
- ④接合部がない構造で、尿が滞留する部分がありません。
- ⑤体外からのアクセスが無いため感染のリスクが少ない仕様です。